

第3回海外投融資委員会議事要旨

1. 日時

平成23年9月15日（木）16:00～17:30

2. 場所

国際協力機構本部1階111会議室

3. 出席者

（海外投融資委員会委員）浦田委員長 赤羽委員 荒木委員 小野委員
佐藤委員 柴田委員 長島委員 前田委員、及びJICA

4. 議事・報告

(1) 議事

パイロットアプローチ2案件（下記）に係る審査結果及び意見等に係る事前検討

- ・パキスタン貧困層向けマイクロファイナンス事業（出資）
- ・ベトナム産業人材育成事業（融資）

(2) 報告

- ・海外投融資の金利体系（案）
- ・JICAによる我が国中堅・中小企業の海外展開支援

5. 議事の要旨

(1) 審査結果及び意見等に係る事前検討

議題の2案件に関して海外投融資委員会の意見書を取りまとめるに先立ち、審査結果につき事務局より報告した。

1. パキスタン貧困層向けマイクロファイナンス事業（出資）
（委員）出資先は、事業拡大に対応するキャパシティは十分にあるか。
（JICA）出資先は、事業拡大に伴う職員採用・教育を実施する計画であることから、キャパシティは問題ない。
（委員）本件の退出戦略につき、その基準と手法を十分に検討する必要がある。
（JICA）退出については事業が成功した場合・失敗した場合とも一定の基準を設け、その基準を満たさない状況となった場合、退出を検討することとしており、手法については出資先及び既存株主と交渉している。

(委員) 一般的なマイクロファイナンス事業の問題点として、借入人が返済に困難を生ずることによって、より貧困となることがあるが、開発効果はどう考慮するか。

(JICA) 開発効果測定のためのサンプル調査として、顧客に生活状況、子供の就学状況等をヒアリングするなどし、顧客の生活状況を確認する努力をしている。

(委員) 借入人对女性比率が低下傾向にあるが、その理由と対策は。

(JICA) 女性比率は、出資先の事業ポートフォリオの観点から、現在の女性比率 33.5%程度が適当と考える。一方で、女性のオフィサーを各支店に設置し、女性がアクセスしやすい環境も作っている。

2. ベトナム産業人材育成事業 (融資)

(委員) 同事業会社がデフォルトを起こした場合、JICA はそれを負担するのか。

(JICA) 本件は、産業人材育成事業会社が借入をする金融機関に対して JICA が融資する形とし、債権保全策を講じており、事業会社のデフォルトが JICA 債権に直接影響を与えることはない。

(2) 報告の要旨

1. 海外投融資の金利体系 (案)

事務局より、標題について委員に対し説明を行った。

2. JICA による我が国中堅・中小企業の海外展開支援

事務局より、標題について委員に対し説明を行った。

以上